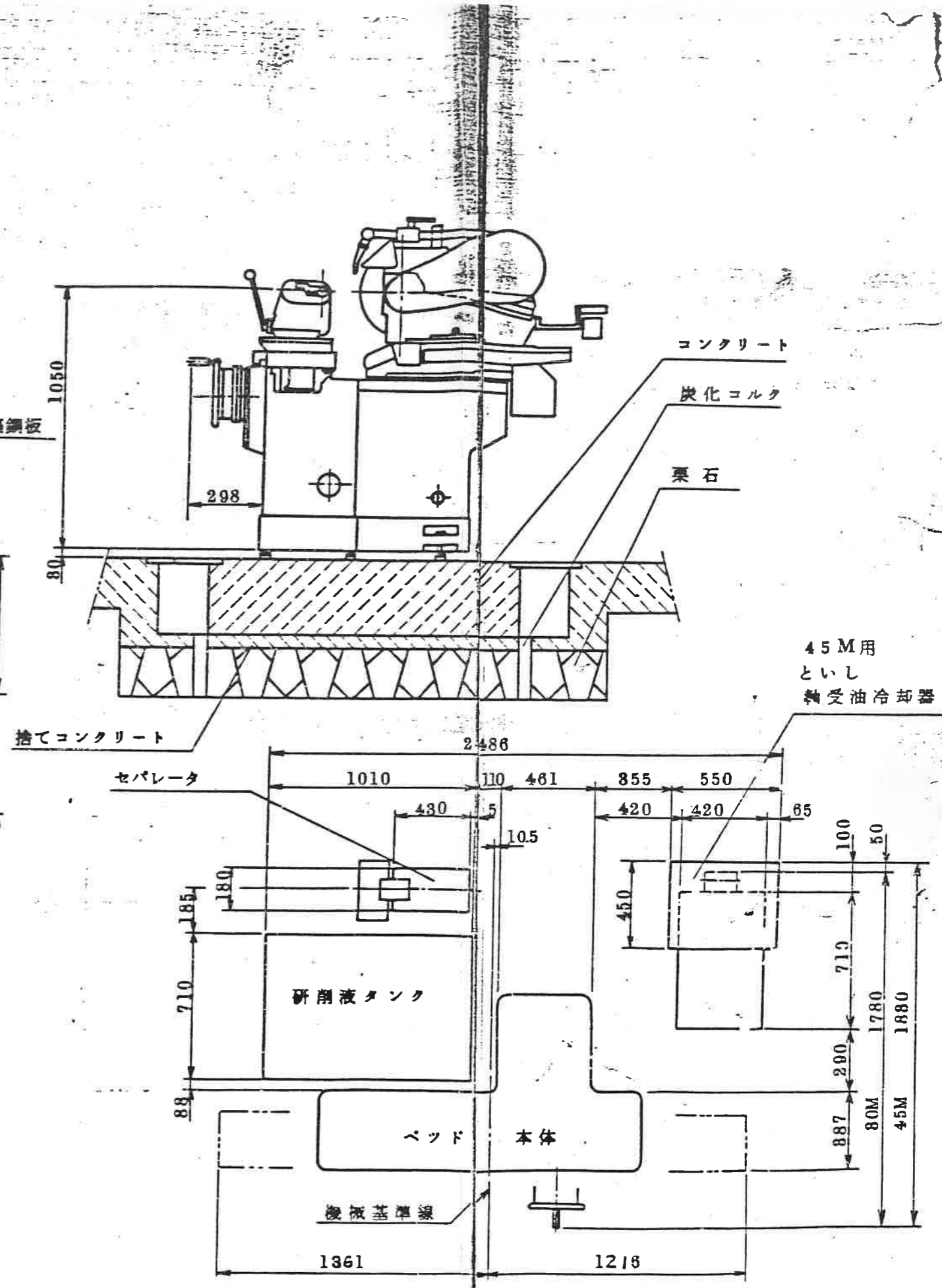
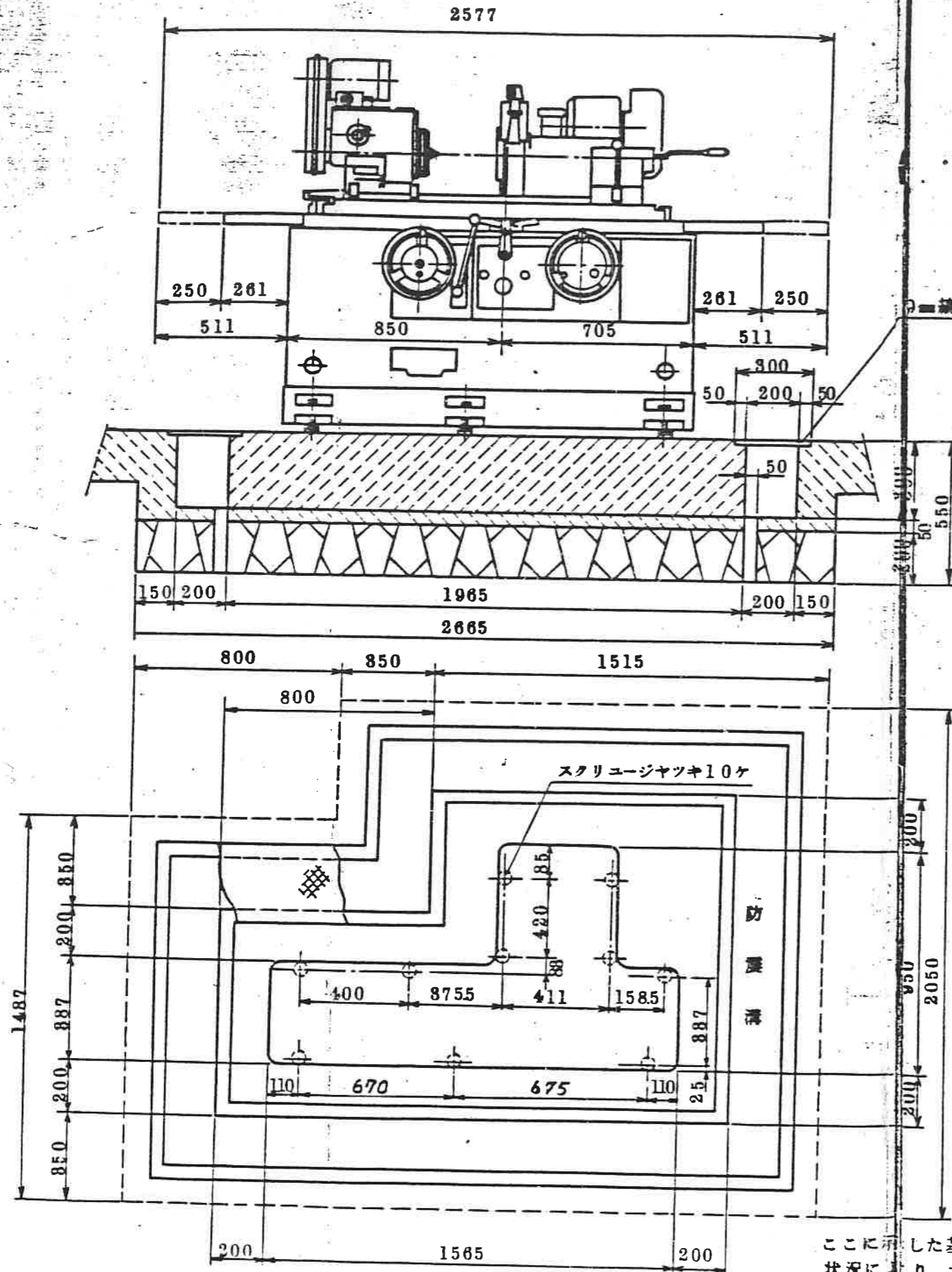


1. 仕様

形式		GUP32×50	GUP32×100
テーブル上の振り	mm	320	
センタ間距離	mm	500	1,000
最大研削直径	mm	280	
振れ止め能力	mm	10~100	
センタ間最大負荷	kg	150	
といし台(旋回形)		TOYODA STAT BEARING 使用	
全行程	mm	295	
手送り行程	mm	160	
といし台位置調整量	mm	95	
油圧早送り行程	mm	40	
自動送り行程	mm	0.3	
トラバース研削自動間けつ送り量(半径)	mm	0.0025~0.04(切込み位置は両端)	
ハンドル送り量(1回転)	mm	1.0	
ハンドル送り量(1目盛)	mm	0.0025	
最大旋回角度		左右各30°	
標準といし(外径×巾×内径)	mm	355×50×127(平形1号といし)	
といし回転速度(フリー取替)	rpm	※2420,2960(1,790,2,195)	
といし周速	m/sec	※45(30)	
テーブル			
最小オシレート量	mm	3~5	
速度範囲(無段階)	mm/min	50~4,000	
旋回角度(反時計回り-時計回り)		12.5°	10°-0°
ハンドル送り量(1回転)	mm	20	
主軸台(旋回形)		回転軸、固定軸切替可能	
センタ		M. T. No.4	
工作主軸穴径	mm	20	
工作主軸回転速度変換数		無段階	
工作主軸回転速度	rpm	16~250	
旋回角度(反時計回り方向-時計回り方向)		90°~30°	
回転主軸最大負荷	kg	40(工作物、保持具を含め)	
心押台		手動式	
センタ		M. T. No.4	
心押軸行程	mm	25	
といし軸受油クーラ	Kcal/h	※1500	
電動機			
といし軸	kw	※5.5(3.7)(4P)	
三軸台	kw	0.75(4P)	
油圧機構ポンプ	kw	1.5(4P)	
といし軸受ポンプ	kw	0.25(2P)	
研削液ポンプ	kw	0.18(2P)	
内面研削(特別付属)	kw	0.75(2P)	
タンク容量			
油圧機構	ℓ	65(モービル パキュオリン1409)	
といし軸受	ℓ	※15(12)(モービル ベロシティ3)	
研削液	ℓ	150	
所要床面積(巾×奥行)	m	※2.76×1.83(2.7×1.78)	※4.52×1.83(4.52×1.78)
正味重量	kg	2,300	3,100

注 1. ()内は30M(といし周速30m/sec)の仕様です。
 2. ※印は、45M(といし周速45m/sec)の仕様です。

GUP32×50形万能研削盤基礎図



ここに示した基礎工事は一例であり、地盤の状態、および、周囲の状況により、コンクリートの厚さ、および防塵方法を変えて下さい。

〔注意〕セパレータと、といし軸受油冷却器は特別付属品です。